岡山県小校長会用字用語例(研究大会要項・会報・きび路等活用)*ーその表記に意味を持たせて使用する場合は、この限りではない*ー 平成27年8月改訂

用語	書き表し方
<b>ア</b>	行
あいさつ	挨拶
あたりまえ	当たり前
あらためて	改めて
ありかた	在り方
ありがとう	ありがとう
あるいは	あるいは ×或いは
いかす	生かす ×活かす
いかなる	いかなる ×如何な
	る
いきいき	生き生き
いきがい	生き甲斐
いずれ	いずれ ×何れ
いだく	抱く ×懐く
~いたします	~致します
~していただく	~していただく
	×~して頂く
いっこうに	一向に
いっさい	一切
いっしょに	一緒に
うちあわせ	打ち合わせ・打合せ
お	お願い ×御願い
	お礼 ×御礼
おおぜい	大勢
おこなう	行う
おとな	大人
おはなしする	お話しする お話
おのおの	各々
おもしろい	面白い
および	及び
カ	行
三ヶ年,三カ年,三	三か年
簡年	
かえって	かえって ×却って
かかわる	関わる
	学校づくり ×作り
かたづける	片付ける
かつ	かつ ×且つ
きづく	気付く
~してください	~してください

項・会報・きび路	等活用) <i>ーその表記に</i>
	×~して下さい
₹	ご理解・御理解
	ご協力・御協力
こころがけ	心掛け×心懸け
~ごとに	~ごとに ×~毎に
~の事	~のこと
ことがら	事柄
ことば	言葉
こどもたち	子どもたち
サ	行
さいわい	幸い
さまざまな	様々な
さらに	更に
しあわせ・仕合わせ	幸せ
しかた	仕方
しくみ	仕組み
しだい	次第
したがう	従う
~にしたがっ	
	10 (0 0 / 2 / 1/3)
て 旧 <b>卒</b> 44	旧本业件
児童・生徒	児童生徒
じゅうぶん	十分 ×充分
じょうず	上手
じょうぶ	丈夫
ずいぶん	随分
すぐれる	優れる ×勝れる
すでに	既に
すなわち	すなわち ×即ち
すべて・総じて	全て
せっかく	せっかく ×折角
ぜひ	是非
そうとう	相当
タ	行
たいせつ	大切
だいたい	大体
たがいに	互いに
たくましい	たくましい ×逞し
/_ \ & U V ·	たくよしい。不足しい
ただし	ただし・但し
ただちに	<u>直ちに</u>
たち	たち ×達 ( <b>友達はO</b> )

まを持たせて(	<u> </u>
たとえば	例えば
たまわる	たまわる・賜る
ちかごろ	近頃
ちゅうちょ	ちゅうちょ ×躊躇
ちょうど	ちょうど ×丁度
つく	付く ×附く×搗く
つごう	都合
できごと	できごと・出来事
できる	できる
てもと	手もと ×手許
00とう	○○等
~のとおり	<b>~のとおり</b> ×通り
~をとおして	<b>~を</b> 通して
ともだち	友達
とらえる	とらえる ×捉える
とりあつかい	取り扱い
とりあつかう	取り扱う
とりくみ	取組(名詞)
レロノナ	〜に取り組み(動詞) 取り組む
とりくむ	以り祖む
<b>→</b>	<i>4</i> 字
かな	行 かお ×尚
なお	なお ×尚
00など	なお ×尚 ○○など ×○○等
○○など なぜ	なお ×尚 ○○など ×○○等 なぜ ×何故
○○など なぜ なにぶん	なお ×尚 ○○など ×○○等 なぜ ×何故 何分
○○など なぜ	なお ×尚 ○○など ×○○等 なぜ ×何故 何分 並びに
○○など なぜ なにぶん ならびに	なお ×尚 ○○など ×○○等 なぜ ×何故 何分
○○など なぜ なにぶん ならびに ねばりづよい	なお ×尚 ○○など ×○○等 なぜ ×何故 何分 並びに ねばり強い
○○など なぜ なにぶん ならびに ねばりづよい	なお ×尚 ○○など ×○○等 なぜ ×何故 何分 並びに ねばり強い のっとって ×則っ
○○など なぜ なにぶん ならびに ねばりづよい	なお ×尚 ○○など ×○○等 なぜ ×何故 何分 並びに ねばり強い のっとって ×則っ て
○○など なぜ なにぶん ならびに ねばりづよい のっとって <b>はぐくむ</b> はなしあう	なお ×尚 ○○など ×○○等 なぜ ×何故 何分 並びに ねばり強い のっとって ×則っ て <b>行</b> <b>育む</b> 話し合う
○○など なぜ なにぶん ならびに ねばとって なくむ はなしあい	なお ×尚 ○など ×○○等 なぜ ×何故 何分 並びに ねばり強い のっとって ×則っ て <b>行</b> <b>育む</b> 話合う 話合い
○○など なぜなんなにないである。 なだがいでする。 なくしまいないないないないないないない。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	なお ×尚 ○など ×○○等 なぜ ×何故 何分 並びに ねばり強い のって <b>行</b> <b>育む</b> 話合う 話合い お話しする
○などなぜにないにないです。 なだがにないでするできるができるができるがらないです。 なくしないでするできます。 はななはないできるいないできる。 ないないないできる。 はないないないできる。 ないないないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないない	なお ×尚 ○など ×○○等 なぜ ×何故 何分 並ばり強い のて マ す す む こ す す た こ こ た こ た こ た し た し た し た し た し た し た
○なだななななののはないですがいたいですがいたがいた。なばったではったではないですがあるしたなりないではないないですがあるりますがある。	なお ×尚 ○など ×何故 のでではないではないではないです。 をでするではないです。 ででするではないでする。 一人のではないでする。 一人のでする。 一のででする。 一のでできる。 一のでです。 一のでです。 一のでです。 一のででする。 一の
○なななねの ○ぜぶびりと なばぶびりと くししなりあち くししなりあち なもああしひう なりあち	な × 尚 × ○ ○ 等 x が ○ ○ 等 x が ○ ○ 等 x が の で が で が で が で が で が で か で で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で
○なななねの ○ぜぶびりと ないにづっ ないにづっ ないしなりあち・ ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないするり	<ul> <li>な × 尚</li> <li>な が × で</li> <li>な が が で</li> <li>な が で</li> <li>か で</li> <li>か で</li> <li>方</li> <li>方</li> <li>方</li> <li>方</li> <li>お か</li> <li>た</li> <li>か し か</li> <li>た</li> <li>か は か</li> <li>か は</li></ul>
○なななねの ○ぜにらばっ ながぶびりと くししなりあち・んど んにづっ むああしひう 外ど かと	<ul> <li>な × ×</li> <li>な が × が</li> <li>な が が が</li> <li>な が が</li> <li>か が</li> <li>か か</li> <li>か か</li></ul>
○なななねの びぜぶびりと ないにづっ ないにづっ ないしなりあち・ ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないすと ないするり ないするり	<ul> <li>な × 尚</li> <li>な が × で</li> <li>な が が で</li> <li>な が で</li> <li>か で</li> <li>か で</li> <li>方</li> <li>方</li> <li>方</li> <li>方</li> <li>お か</li> <li>た</li> <li>か し か</li> <li>た</li> <li>か は か</li> <li>か は</li></ul>

2 C 12/2 V	十, 从 2 7 平 6 万 以 时
~まいります	~まいります
	×~参ります
まことに	誠に ×真に×実に
まず	まず ×先ず
ますます	ますます ×益々
まちがう	間違う
まったく	全く
みいだす	見いだす ×見出す
みごと	みごと
みずから	自ら
みぢか	身近
みにつける	身に付ける
めあて	目当て
めざす	目指す
もちろん	もちろん ×勿論
もつ	もつ(見識,希望,自信)
	持つ(荷物等)
ヤ	行
ようす	様子
~のようだ	~のようだ ×様だ
~のような	~のような ×様な
よほど	よほど ×余程
ラ	行
かれ <u>ら</u>	彼ら ×彼等
りっぱな	立派な
ワ	行
わがくに	我が国
わかる	分かる ×解る×判
	る
わずか	僅か
わたし わたく	私
L	
わたって	わたって ×亘って
わりあいに	割合に
わりあて	割り当て
われわれ	我々
その他	
P. T. A.	PTA
ピサ型	PISA型
O. E. C. D.	OECD
<u>I</u>	L